

# 福山市立鞆の浦学園 第1回学校運営協議会

2022(R4)5.16(月) 14:00~15:00

場所：鞆の浦学園図書室

## 1 任命通知書交付

## 2 自己紹介及び会長・副会長選出

会 長：古山 貴規

副会長：羽田 知世

委 員：上野リサ，堤祐弥，橋本貞夫，宮本和香，  
平岩千尋，細田暁，宇根一成(校長)



### 《 会長挨拶 》

自分自身が鞆小中学校の卒業生です。恩師に「気づき・考え・行動する」ことを常に言われていました。協議委員として、今の子どもたちにも、自分で「気づき・考え・行動できる子」に育ってほしいと考えています。日頃から校長室を訪ねることが多く、今後も、子どもが育つ環境を整える役割をしていきたいと思ひます。

## 3 学校説明（校長）

### ○ 学校運営協議会について

- ・ 子どもたちが元気でいろんなところで輝くことを目指す。
- ・ 輝く毎日を積み重ね、子ども自身が成長を実感できるようにする。
- ・ 運営協議会は、学校をよりよくするための意見をもらう場。
- ・ コミュニティ・スクールをつくることが目的ではなく、協議会の活動を通して、子どもたちに力を付けていく。

### ○ 学校経営方針について

- ・ 縦割りの学校生活や行事の紹介（掃除，合唱，学園会など）
- ・ 授業改善を目的とした後期課程の教師による前期課程での授業実践
- ・ コロナ禍の学校生活(卒業式，臨時休業，自由登校など)
- ・ チャレンジタイムの設置（1～9年まで自分で教科を選んで学ぶ）
- ・ 鞆学の説明（鞆の魅力を色々な方法で発信することを課題に設定して学習）  
例 保命酒のクッキー，漢字ドリルの制作
- ・ 学習端末（Chromebook）の活用
- ・ 地域と学校の関わり  
地域を題材にした授業，出前講座の実施（トンネル工事）
- ・ 子どもの作品や成果物を地域施設に展示
- ・ 本年度の運動会のテーマ…戮力協心りくりよくきょうしん（心を一つにして力を合わせること）



#### ○ 学校長としての思い

- ・ いろんなことに出会わせて、学ぶきっかけを準備する。
- ・ 何かのきっかけで夢、志を描いてほしい。
- ・ 鞆の浦版コミュニティ・スクールをつくっていききたい。（組織図はなし）

#### 4 全体を通じて意見交流

地域： 運営委員として、先生に任せておくのではなく、子どもたちに積極的にかかわっていききたい。いろんな大人と接点をもつことによって、子どもの考え方の多様性が生まれる。鞆の浦は、昔からいろんな大人が子どもにかかわってきた地域。

学校： 子どもの姿を感じていただくことが大事。意見をどんどん出してもらえると嬉しい。協議会自体は年3回しかないが、学校行事だけではなく、普段からどんどん学校にきてほしい。リアルな子どもたちや職員の姿を見てほしい。

地域： 私は学校によく来て、言いたい事は言っている。

学校： 良いことでも悪いことでも遠慮なく言っていただきたい。そういう関係になっていただけると有り難い。

地域： 学校の先生側から学校の課題を投げてもらい、それを地域でカバーできるかを考えられたらと思う。（例：図書ボランティア）

地域： コミュニケーションする中で、課題などは出てくるもの。課題といっても先生方自身も気づいていないことがある。

地域： 子どものほうが親よりもITに詳しい。子どもからタブレットを取り上げるのは不可能。子どもにタブレットの使い方を教えるのはもちろんだが、保護者に伝えることが必要。IT関係は、自分自身、学校のお手伝いができる分野だと思う。

地域： 子どもに正しいことを伝えようとしても親が間違っていたら子どもに伝わらない。学校からは保護者に言いつらくても、地元の間人だと言えたりする。

地域： 子どもは遊びのプロ。タブレットのセキュリティをどうにか掻い潜って遊ぶ。止めることはできない。そういう力が学びに向かうようにしたいと考えている。

家庭科の先生から子どもたちのタブレットの使用時間が増えているという相談を受けた。学校医と相談して、医学的な観点から体への影響について授業がしたいという話を聞いた。運営委員には、医療の専門家とITの専門家がいるので、一緒に授業ができればいい。それぞれの強みを活かして授業ができれば面白そう。

学校： 今後、どのような形でもいいので、ご意見をいただいたり、遊びにきてもらったりして、できる範囲で協力してもらいたい。型にはまった協議会にはしたくない。子どもたちのプラスになることを考えていきたい。

古山： 定期的に集まるというより、どんどん学校に来て、ざっくばらんに伝え、保護者、みんなの意見を集める場所にしていこう。

